

展示会等のイベント産業高度化推進事業

令和3年度予算案額 3.3億円（新規）

事業の内容

事業目的・概要

- 展示会等のイベント産業は企業にとって重要な商談、マーケティングの場であり、多くの支援企業の雇用創出やイノベーション促進、開催地域における経済波及効果など、我が国経済において重要な役割を担っています。
- 一方、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、ほとんどの展示会等のイベントが中止・延期・規模縮小を余儀なくされています。
- 大阪・関西万博が控える中、展示会等のイベント産業の更なる発展を図るためには、新たな生活様式に対応したビジネスモデルの構築を推進することが重要です。
- 本事業では、With/Afterコロナ下における展示会等のイベント産業の新たなビジネスモデルの構築に向けた取組について実証を行います。また、新たな取組を行う中小規模展示会等の主催者に対して、展示会等のイベントの開催に向けた取組に関する費用の一部を補助します。

成果目標

- 展示会等のイベント産業の新たなビジネスモデルを構築します。
- 中小企業等に商談件数の増加に貢献します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

- IT技術や感染症対策等の専門家の助言を受け、リアルな展示会等のイベントに加え、オンラインとリアルな展示会等のイベントの併用や、デジタル技術を活用したオンライン展示会等のイベントなど、With/Afterコロナ下の新たな展示会等のイベント産業のビジネスモデルを構築する先進的な取組について実証を行います。
また、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて新たな取組を行う中小規模の展示会等のイベント主催者に対して、新たな生活様式に対応した展示会等のイベントの開催に向けた取組に関する費用の一部を補助します。



新たな技術の活用の例



展示会を活用して地域・商品のブランディングを行っている「燕三条」の事例